

垣根を超え融合する和と洋、27名で編み上げる17作品の試み！！

壁のない 無限教室 コンサート vol.4

2024

5月22日 [水] 18:00開演 (17:30開場)

東京オペラシティ・リサイタルホール

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3丁目20-2【京王新線 初台駅(東口)直結】

入場料：一般 **¥4,000** 大学生 **¥1,000** 高校生以下 **¥500**

ナイトパス* [II部以降入場可、一般のみ] **¥3,000** *II部の開始予定は19:00頃を予定しています

《ご予約・お問い合わせ》

✉ sappo@jcom.zaq.ne.jp

☎ 090-6047-6107 (佐藤)



壁のない無限教室コンサート Vol.4

ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけにより27名の音楽家が今年も“教室”に集う。佐藤の下で学んだ弟子のみならず、薫陶を受けた生徒や仲間、邦楽器・弦楽器・管楽器、作曲家など垣根を感じさせない精鋭ばかり。ジャンルや世代の壁のないアンサンブル、プログラムは、佐藤の自由闊達なアイデアを活かした授業が源流で、その試行は無限に続く。4回目となる今年も多様すぎる作品が目白押し。ここでしか聞けない音楽を体験できるはず！音楽の輪と挑戦を体感しに授業参観をぜひ！

PROGRAM プログラム

I部【ギターづくし】18:00 開演

- A.ヒナステラ：マランボ
- A.ピアソラ / 平佐 修 編曲：
ブエノスアイレスの春
- 西村 朗：ピバ
- 木下 正道：
晴朗、晴朗！4台のギターのための
- R.デラノフ：トルコ民謡風

II部【旬の室内楽6種盛り】19:00 ごろ開演予定

- 敖 翔 (アオ・シェン)：君を思えどもみえず
ギター 岡本 和也 ピアノ 伊藤 憲孝
- 山下 俊輔 / 渡辺 裕紀子 編曲：あるがままに
ギター 山下 俊輔 ヴァイオリン 原田 亮子 フルート 佐藤 優佳
チェロ 佐藤 翔 コントラバス 佐藤 洋嗣
- カール・シンメル：新曲 (タイトル未定)
SPiCE quartet
三味線 本條 秀慈郎 ヴァイオリン 原田 亮子
ギター 佐藤 紀雄 チェロ 佐藤 翔
- S.ジョンソン：アップ・アンド・バックより
エレキ・ギター 山田 岳 三味線 本條 秀慈郎
チェロ 佐藤 翔 ピアノ 伊藤 憲孝
- 溝入 敬三：外なる世界 (山海経より第一・南山経)
二十五絃箏 木村 麻耶 トロンボーン 村田 厚生
- 伊左治 直：トランプの王
ギター 佐藤 紀雄 ヴァイオリン 原田 亮子 打楽器 伊左治 直

III部【合奏三昧】20:00 ごろ開演予定

- 一柳 慧：ピアノ・メディア
- M.C=テデスコ / 森田 綾乃 編曲：
ギター協奏曲より 第2楽章
ソロギター 森田 綾乃
フルート 佐藤 優佳 ヴァイオリン 原田 亮子
チェロ 佐藤 翔 コントラバス 佐藤 洋嗣
- 三浦 寛也：閑吟集三首
声・三味線 本條 秀慈郎 チェロ 佐藤 翔
- C.サン=サーンス / 伊藤 巨希 編曲：
歌劇サムソンとデリラより バッカナール
- 長澤 勝俊：
飛騨に寄せる3つのバラードより 歩荷・杉玉
- G.ホルスト / 宇高 靖人 編曲：
セントポール組曲より 終曲

* II部、III部の開演時刻は前後する可能性があります

PERFORMERS 出演者

企画・構成・ギター

佐藤 紀雄

ギター

伊藤 巨希
宇高 靖人
岡本 和也
奥野 隆
杉田 文
多治川 純一
土橋 庸人
坪川 真理子
堀口 裕
松澤 結子
松本 努
森田 綾乃
山下 俊輔
山田 岳
渡邊 華

フルート

佐藤 優佳

ヴァイオリン

原田 亮子

チェロ

佐藤 翔

コントラバス

佐藤 洋嗣

トロンボーン

村田 厚生

ピアノ

伊藤 憲孝

三味線

本條 秀慈郎

箏

金子 昇馬

木村 麻耶

内藤 美和

打楽器

伊左治 直



壁コンサポーターを募集しています!!!

壁コンを一緒に盛り上げませんか？あなたのご寄付が、更なる壁の無い無限の挑戦を可能にする大きな後押しとなります！是非ご寄付をお願い申し上げます！！

寄付金受付額 ¥2,000~

*ご寄付いただきました寄付金は、公演の運営及び活動資金として、大切に充てさせていただきます

<特典> 壁のない無限教室コンサート2023限定LIVE映像視聴券

お申し込み・お問い合わせ：sappo@jcom.zaq.ne.jp (佐藤)

壁のない無限教室コンサート Vol.4

ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけにより27名の音楽家が今年も“教室”に集った。佐藤の下で学んだ弟子のみならず、薫陶を受けた生徒や仲間、邦楽器・弦楽器・管楽器、作曲家など垣根を感じさせない精鋭ばかり。「ギターづくし」・「旬の室内楽6種盛り」・「合奏三昧」と銘打ち3部構成されたプログラムは、佐藤の自由闊達なアイデアで選曲されている。作品が一度廻り始めれば、目も耳も踊るひとときとなることだろう。27名で編み上げる和と洋のジャンルや世代の壁のないアンサンブル、全17作品の試みを、是非ご賞味いただきたい。

PROGRAMS AND NOTES プログラム・曲目解説

I部 ギターづくし 18:00 開演

アルベルト・ヒナステラ [1916-1983] : 小麦の踊り・マランボ - パレエ組曲エスタンシアより [1941]

〔Gt 奥野隆・杉田文・岡本和也〕

ヒナステラはアルゼンチンの作曲家で民族的な音楽を西洋のスタイルで表現した。これは彼の代表的な作品で、アルゼンチンの大農場を舞台にしたパレエ組曲「エスタンシア」のなかの2曲。抒情溢れる旋律の1曲目に続き、アルゼンチンで最も有名なマランボのリズムによる2曲目を演奏する。(佐藤紀雄)

アストル・ピアソラ [1921-1992] / 平佐 修 編曲 : ブエノスアイレスの春 [1970]

〔Gt1 伊藤 亘希・岡本和也 Gt2 杉田文・坪川 真理子 Gt3 多治川 純一・山下 俊輔〕

タンゴの革命児・ピアソラは、作曲家兼バンドネオン奏者。彼がパリやニューヨークで研鑽を積んだ後に故郷アルゼンチンに帰国して書いた「ブエノスアイレスの四季」は、新タンゴのエッセンスで溢れています。その中から一曲を、ギタリスト平佐修によるアレンジでお聴き下さい。(坪川 真理子)

西村 朗 [1923-2023] : ピパ [1989]

〔Gt 土橋 庸人・松澤 結子・渡邊 華〕

中国の琵琶(ピパ)の奏法と音楽にヒントを得て作曲された。速い三連符の同音反復の手法によるゆったりと息の長い旋律が続く。その旋律線の流れの中に点描的なモチーフが現れる。昨年壁コンにいらしていただいた西村先生へ、感謝と哀悼の思いを込めて。(松澤 結子)

木下 正道 [1969-] : 晴朗、晴朗 I 4台のギターのための [2022]

〔Gt1 土橋 庸人 Gt2 杉田文 Gt3 山田 岳 Gt4 岡本和也〕

タイトルはジャズスの「歓待の書」によります。この曲では変則チューニングによって四台ギターのハーモニクス音で様々な和音を作ることを試みています。演奏は大変至難ですがそれらの「激しさ」の果てにすべてが崩れて沈黙に覆われていく様までをご堪能いただければ幸いです。(木下正道)

ロベルト・デラノフ [1942-] : トルコ民謡風 - 4台のギターのための協奏曲より [1982]

〔Gt1 坪川 真理子・松澤 結子 Gt2 土橋 庸人・奥野隆 Gt3 堀口 裕・森田 綾乃 Gt4 渡邊 華・山下 俊輔〕

一昨年に続き、デラノフの4台(今回は8名で演奏)のギターのための協奏曲を取り上げる。第3楽章はトルコ民謡に基づくもの。よく知られたトルコ行進曲とは異なり、バルカン半島の民俗舞曲を思わせる変拍子が多用されている。この楽章も今回の演奏が日本初演と思われる。(堀口裕)

-休憩-

II部 旬の室内楽6種盛り 19:00 開演

アオシェン
敖翔 [1982-] : 君を想えども見えず [2022]

〔Gt 岡本和也 Pf 伊藤 憲孝〕

作曲者は現在中国四川省成都市の四川音楽学院で作曲科教授。この作品のタイトルは四川出身の唐代詩人の李白による“峨眉山月の歌”から取られている。秋、峨眉山の上には半月がかかり、下を流れる川面に映る流れを見ながら想いに耽るさまを描いた叙情をギターとピアノによって謳う。(佐藤紀雄)

山下 俊輔 [1984-] / 渡辺 裕紀子 編曲 : あるがままに [2022]

〔Solo Gt 山下 俊輔 Vn 原田 亮子 Fl 佐藤 優圭 Vc 佐藤 翔 Cb 佐藤 洋嗣〕

山下俊輔The Beatlesカバーアルバム「LET IT BE」に収録された一曲。絶望から希望を見出したいと思い書いた曲になります。(山下俊輔)

カール・シンメル [1975-] : **Some Leaves on Existence** (仮題) [2024] 世界初演

[SPiCE quartet : 三味線 本條 秀慈郎 Vn 原田 亮子 Gt 佐藤 紀雄 Vc 佐藤 翔]

静謐な佇みの中で大胆さと普遍性を兼ねた作風によって常に"新しい眼"を与えてくれる作曲家カール・シンメル。4楽章からなる作品で今回は2つの楽章を先駆けて演奏。万葉集 大伴旅人の酒歌と瀬沙弥の哀歌をもととし、スパイスカルテットのために書かれた。穿つ時間と空間。(本條 秀慈郎)

スコット・ジョンソン [1952-2023] : **Breath In My Throat - Up and Back**より [2005]

[E-Gt 山田 岳 三味線 本條 秀慈郎 Vc 佐藤 翔 Pf 伊藤 憲孝]

山間、風の通り道。遠くの学校、チャイムのこだま... 自然や日常からもたらされた何気ない驚きをリスペクトし音楽することを教えてくれた作曲家スコット・ジョンソン。惜しくも昨年旅立たれた、この友に捧ぐ。ニューヨーク・ジャパン・ソサエティーによる委嘱作品。(本條 秀慈郎)

溝入 敬三 [1955-] : **外なる世界 (山海経より第一・南山経)** [2023]

[二十五絃 木村 麻耶 Trb 村田 厚生]

『山海経』は紀元前の中国で編纂された摩訶不思議、荒唐無稽、気宇壮大な地理書。箏曲が確立した1600年代に時代を合わせ、当時のトロンボーンを使って演奏します。その名はサクバット、音色柔和にして箏と合わせるによろし。(村田厚生)

伊左治 直 [1968-] : **トランプの王様** [2006]

[Gt 佐藤 紀雄 Vn 原田 亮子 Perc 伊左治 直]

ガルシア・ロルカ没後70年祭にて初演。ロルカの「スペイン古謡」から1曲を選び編曲する「お題」があり、わたしは『トランプの王様』(Los reyes de la baraja)を選んだ。原曲は1フレーズだけと極めて短く、それをテーマとしてパラフレーズのように作曲・構成した。(伊左治直)

-休憩-

III部 合奏三昧 20:00 開演

一柳 慧 [1933-2022] : **ピアノ・メディア** [1972]

一柳は幼少時より才能教育を受け、後にニューヨークのジュリアード音楽院へ進むというアカデミックな修行を進んだが、その後ジョン・ケージと出会い現代芸術の世界に飛び込み前衛的な作品を書くようになった。あたかも生身の人間が厳格な機械運動に挑戦するかのピアノ・ソロ曲を更にアンサンブルで挑む編曲。(佐藤紀雄)

マリオ・カステルヌオーヴォ=テデスコ [1895-1968] / 森田 綾乃 編曲 :

第2楽章 アンダンティーノ-アラ ロマンツァ - ギター協奏曲第1番 より [1939]

[Solo Gt 森田 綾乃 Fl 佐藤 優圭 Vn 原田 亮子 Vc 佐藤 翔 Cb 佐藤 洋嗣]

編曲中も練習中も私がこの作品に思い描いていたことは『郷愁を胸に荒涼とした原野を進み、夜明けを迎えるセファルディ(ユダヤ人)』です。定住できる祖国がある私には想像できない苦難があったでしょう。聴き終わった時に力強く生きる希望が残るように奏めます。(森田綾乃)

三浦 寛也 [1975-] : **閑吟集三首** [2022] デュオ夢乃(三味線 木村伶香能・Vc 玉木光) 委嘱作品

[Vo・三味線 本條 秀慈郎 Vc 佐藤 翔]

閑吟集には庶民や遊女の歌が多く、現代のツイートのようによびきらぼうで、昔の言葉とは思えない生々しさがある。恋愛を題材とした幾つかの歌には快楽を享受する自分と、その彼岸から自身を冷徹に見る視点が共存し、声や楽器を演奏する身体性とも繋がっていく。デュオ夢乃による2022年の委嘱。(三浦寛也)

カミーユ・サン=サーンス [1835-1921] / 伊藤 亘希 編曲 : **バッカナール - 歌劇サムソンとデリラ**より [1874]

「バッカナール」とは酒の神バックスの宴のことであり、劇中では囚われたサムソンの前で敵たちが挑発的に踊るシーンで演奏される。いわゆる「ジブシー音階」を用いた妖しいテーマが印象的。ラストは際限なく盛り上がっていき、宴の狂乱の様子が存分に表現されている。(伊藤亘希)

長澤 勝俊 [1923-2008] : **歩荷・杉玉 - 飛騨に寄せる3つのバラード**より [1977]

この作品は作者が飛騨に残る文化に心惹かれ、組曲風にまとめたものである。本日はその中から、歩荷と杉玉を演奏する。長澤氏の作品には、どこか郷愁を誘う不思議な魅力があり、多くの演奏者に愛されている。飛騨に生きる人々の姿や雄大な自然を思い浮かべていただけたら幸いである。(金子昇馬)

グスターヴ・ホルスト [1874-1934] / 宇高 靖人 編曲 : **終曲 ダーガソン - セントポール 組曲**より [1913]

ロンドンにあるセント・ポール女学校の教員として務めていたホルストに専用音楽室が与えられた。この組曲はその感謝の意を表して作られた作品であるが、終曲に出てくるグリーンスリーブスには、イギリスの民謡復興運動として、教育的視点からも牽引された作品と考察できる。(宇高靖人)

PROFILE OR MESSAGE プロフィール、またはメッセージ

企画・構成・ギター

さとう のりお

佐藤 紀雄 ギター演奏ではソロから様々なアンサンブルまで、またアンサンブル・ノマドの企画や指揮を行っている。壁コンを心から楽しみたい。

ギター

いとう こうき

伊藤 巨希 今回、パッカナールの合奏用編曲を担当させていただきました。どんな響きになるか私自身とても楽しみです!

うだか やすひと

宇高 靖人 ギターデュオ「いちむじん」として12年間活躍。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。全日本ギター協会会長。

おかもと かずや

岡本 和也 趣味はサブスクでの映画鑑賞、ロードバイクと水泳。目下の目標はバタフライのマスター。7月にCD出ます。

おくの たかし

奥野 隆 エリザベト音楽大学卒業。藤井真吾、佐藤紀雄の各氏に師事。日本ギターコンクール入賞。

すぎた あや

杉田 文 1995年生まれ。ギターを松本努、佐藤紀雄、藤澤和志の各氏に師事。桐朋学園芸術短期大学卒業。

たじかわ じゅんいち

多治川 純一 クラシックギターを大橋俊和、ジャズギターを大橋博和、エレキギターを今剛に師事。

つちはし つねひと

土橋 庸人 ウィーン・ギターフォーラム現代音楽賞、競楽XIIIにて、入選及び審査員特別奨励賞を受賞。

つばかわ まりこ

坪川 真理子 東京外国語大学、マドリッド王立上級音楽院卒業。現在、桐朋学園芸術短期大学、フェリス女学院大学講師。

ほりぐち ゆたか

堀口 裕 1982年のミュージックトゥデイで「佐藤紀雄」を初体験。現在は多摩川ギターカルテットとして森田綾乃に指導をうける。

まつざわ ゆいこ

松澤 結子 本木盛夫、小原聖子の各氏に師事。桐朋学園芸術短期大学にて佐藤紀雄氏に師事。(公社)日本ギター連盟正会員。

まつもと つとむ

松本 努 木更津ギター教室主宰 藤沢とセンター北でもギター教えてます。食べたり食べなかったり、分子栄養学で体質改善のお手伝いも。

もりた あやの

森田 綾乃 今日ここに集まった全ての方に心から感謝しています!!壁を取り払い、みんなで音を楽しみましょう!!

やました しゅんすけ

山下 俊輔 帰る場所が毎年ある事に感謝感謝です。今年もこの祭りを楽しみます。

やまだ がく

山田 岳 今年も紀雄先生やみんなと音楽を楽しみたいです!

わたなべ はな

渡邊 華 9歳からクラシックギターをはじめ、日本大学芸術学部を卒業。渡辺隆、佐藤紀雄、高田元太郎各氏に師事。

フルート

さとう ゆうか

佐藤 優圭 桐朋学園芸術短期大学芸術科卒業。並びに専攻科、研究生修了。推薦を受けフルートデビューリサイタル出演。

ヴァイオリン

はらだり しょうこ

原田 亮子 メロディよりも内声を弾くのが好きなヴァイオリン弾き。音の万華鏡を主宰。二児の母。食いしん坊。

チェロ

さとう しょう

佐藤 翔 高校の吹奏楽部でチェロに出会い、桐朋短大、桐朋学園大学卒業。佐藤紀雄は親戚の叔父、では無い。

コントラバス

さとう ようじ

佐藤 洋嗣 高校時代はエレクトリック・ベースを演奏し、卒業後コントラバスの魅力に触れ、転向。

トロンボーン

むらた こうせい

村田 厚生 桐朋学園大学、ベルリン芸術大学卒。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。佐藤先生を中心に若い皆さんと作り上げる「壁」はめっちゃ楽しいです!

ピアノ

いとう のりたか

伊藤 憲孝 ピアニスト。ニューヨーク、ベルリンなど世界各地で演奏。福山平成大学教授、広島大学客員教授。ネコ好き。

三味線

ほんじょう ひでじろう

本條 秀慈郎 本條秀太郎に師事。桐朋短大卒。文化庁文化交流使。芸術選奨。出光賞など受賞。N響など共演。AB型。

箏

かねこ しょうま

金子 昇馬 桐朋学園芸術短期大学専攻科修了。壁コン初参加です。楽しい音楽の時間を皆様と共有できたら嬉しいです。

きむら まや

木村 麻耶 第14回佐治敬三賞受賞。多くの国際公演、審査員を務める。木村麻耶アルバムCD《光る 空》Newリリース。

ないとう みわ

内藤 美和 桐朋学園芸術短期大学日本音楽専修卒業。箏/十七絃/二十五絃箏を二代野坂操壽氏、滝田美智子氏に師事。

作曲・打楽器

いさじ すなお

伊左治 直 サッカーや映画、南米文学、民俗学の愛好家であり、それらの興味は作曲へ強く影響を与えている。